

キャリア講演会

@バンコク

筑波大学附属坂戸高等学校

「帰国生の高校選びと本校の特徴」

- ✓国際バカロレア(IB)は、日本では普及しているのでしょうか？
- ✓帰国生の高校選びにおいて、気をつけるべきポイントとは？
- ✓最近、**大学入試が大幅に変わっている**というニュースを見かけましたが、本当ですか？
- ✓**新学習指導要領**の導入によって、**探究学習**は進んでいるのでしょうか？

これらの疑問にお答えするために、教育講演会を企画致しました。本校の教員が、IB、大学入試・高校教育の状況、及び帰国生の高校選びのポイントについて解説致します。そして、本校が変化する時代にどのように対応しているか、説明致します。

筑波大学附属坂戸高等学校 (UTSS)

埼玉県坂戸市にある筑波大学の附属学校です。帰国生や外国人生徒を積極的に受け入れる帰国子女受け入れ校です。本校は、国立大学附属校の特色を生かしたグローバル教育プログラムを開発・実践しています。

SG クラス(スーパーグローバルクラス)を設け、帰国生に特化した入試も行っています。また、2018 年度から国際バカロレア(IB)ディプロマプログラムを導入し、日本語 DP による IB 教育がスタートしました。総合学科であり、且つ IB を導入している学校は、日本で本校のみです。

- 開催日時:3月1日(土)午前の部、又は午後の部を選択して下さい。
午前の部:10:30~12:00。(個別相談をご希望の方は、別途、時間調整致します。)
午後の部:13:30~15:00。(個別相談をご希望の方は、別途、時間調整致します。)

- 会場:Asok Interchange UL 階
Personnel consultant 社からエスカレーターで1つ下の階にある Gallery21 にて。



- お申し込み:[2025年3月筑波大学附属坂戸高等学校学校説明会・個別相談会 参加申し込み](#)
URL 又は QR コードよりご登録ください。企画・とりまとめはバンコクの教育団体 Sawan 様に依頼しています。

- 私たちがお伺い致します。
中臺昇一(なかだい・しょういち) 20 年間に渡り千葉県の県立高校に奉職。その後、オーストラリアに移住し、パース日本人学校で管理職を務めた。日本でもう一度教鞭をとりたい! と思い、筑波大学附属坂戸高等学校へ。現在は、帰国生入試と生徒指導を担当している。担当教科:理科、主幹教諭。

- 吉田賢一(よしだ・けんいち) 大学院修了後、総合商社で物流を担当。その後、JICA 青年海外協力隊としてインドネシアで勤務した。帰国後は、「人を残すシゴトに就きたい!」と思い、筑波大学附属坂戸高等学校へ。現在は、IB ディプロマプログラムのコーディネーターとして幅広く国際教育に従事している。担当教科:公民科、教諭。